

湖南省立図書館 令和元年度第2回図書館協議会 会議録

- 開催日時 令和元年（2019年）12月11日 午後4時00分～6時10分
- 開催場所 湖南省立甲西図書館 2階集会室
- 出席者 図書館協議会委員9人（欠席者1人）  
事務局4人  
生涯学習課2人…議事1のみ出席
- 傍聴人 1人
- 開 会  
[あいさつ] 図書館長  
[市民憲章唱和]  
[傍聴確認]
- 議 事 1) 湖南省「読書の魅力」種まきプラン（案）について  
2) 図書館協議会交流会について  
3) 令和元年度実績報告（中間報告）  
4) 自由討議  
5) その他

次回開催日時について

議長	<p>先般、滋賀県図書館協議会交流会に参加をさせていただきました。今日の議題の2つ目にも、交流会についてというお話がございます。私も参加させていただきましたが、初めての体験で、県内の図書館の状況が少し垣間見れたかなと思っています。後で参加いただいたみなさんに感想等もお願いしたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは議事の方に入らせていただきまして、1番目、湖南省「読書の魅力」種まきプランの案につきまして、よろしくお願ひいたします。</p>
生涯学習課	<p>湖南省「読書の魅力」種まきプラン（案）について説明 事前にいただいた意見についての回答 質疑応答 ※内容については非公開</p>
議長	<p>それでは、1つ目の協議を終了しまして、2番目の図書館協議会交流会について、出席いただいたかたに感想とポイントをお話しいただきたいと思ひます。</p>
委員	<p>出席者のグループ分けがありまして、最初に東近江市立図書館のかたのお話を聞きました。その後、グループで意見交換をし、私は来館者数のカウント方法について質問をしました。以前に、本を読むだけで借りずに帰るかたは来館者数に含まれていないのではないかと聞くと、湖南省は本の貸出をした人数で来館者数をカウントしているとのことでしたのでこの質問をしました。なお、甲賀市は来た人でカウントが</p>

	できていると聞きました。
委員	<p>所用があり、交流会には遅れて参加しましたが、図書館に熱い思いを持ったかたがこれだけいらっしゃるということが分かって、これから一緒にいろんなことの話をしていただけたらよい勉強になると思いました。</p>
委員	<p>東近江市の発表の後、図書館の利用に障壁のありそうな人に直接お話を聞くということをしよとすると、東近江市では躊躇されるというようなことがあったりしますか？とのような質問をしたところ、こちらから話を聞きに行くという回答をいただきました。</p> <p>また、グループ交流会で私は多様な意見を述べました。その中で、別の参加者が「うちの図書館ではボランティアのかたが担ってくれている部分が多いが、担い手の確保が難題だ」とおっしゃったのに対して、私が「ボランティア活動の組織では、ベテランが新入りにキツくあたるからでは。そういうのはやめたほうがよい。しかし公共の活動を担っていると、余計に、それでハクがついて、ベテランが偉そうにする。それで人手不足とか言っているの…どういことが私には分からない」と述べたところ、共感が集まりました。</p>
議長	<p>協議会には私も初めて参加させていただいたのですが、全県から来ておられるので行ったことのない市町はその市町が大きいのか小さいのか、図書館も大きいのか小さいのかも分からないまま話を進めていかないといけなかったの、事前にこの図書館の蔵書数はどのくらいなどの情報や出席者名簿があれば、もう少し話すことができたとは思いました。</p> <p>東近江市立図書館のかたのお話は、本も大事なんだけど、それだけではなくコミュニティな部分を大事にされているという印象を受けました。また、議論の中でもカフェの話が出ていましたし、湖南省には自販機はありますがカフェではないので、そういったことも今後議論していくべきなのかなということも感じました。</p>
事務局	<p>1つ、委員のかたからご質問いただいたことについて回答させていただきます。ブックディテクションシステムという、磁気テープを本に入れて管理するシステムがあります。そのシステムには図書館の入口にバーなどを設置し、1回通ったら入館者1人とカウントできるようになっているので、入館者数を把握することができます。湖南省立図書館はそのシステムを導入していないので、入館者数をカウントすることはできませんが、導入している図書館は入館者数をその機械で数えておられるということです。</p>
議長	<p>やはりどの図書館も悩みどころはよく似ていて、本離れをどのようにして食い止めていくのかをいろいろしておられるし、喫茶やカフェをつくって、まずここに来てもらおうという流れになっていました。また、守山市は新しく図書館を作り学生を含む学習コーナーを作ったので人集めとしては成功していると。ただ、貸出冊数が増えたなどの報告はなかったの、本離れを食い止めたとは感じられませんでした。</p>

	<p>それでは、3番目の令和元年度実績の中間報告をお願いします。</p>
事務局	<p>資料に基づき説明（資料⑤, ⑥, ⑦）</p> <p>※補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石部図書館は平成30年度途中から週1日休館→週2日休館に変更した。</li> <li>・移動図書館車は、令和元年度途中から一部の学校、保育園・幼稚園・こども園の巡回を再開した。</li> <li>・甲西図書館は蔵書点検を平成30年度は実施しなかったが、今年度は5月に実施したので、開館日数に差がある。</li> </ul> <p>以上のことから、平成30年度と令和元年度を単純に比較できない箇所があります。</p>
議長	<p>今報告いただきましたが、何か意見や不明な点がありましたらどうぞ。</p>
委員	<p>資料⑦ですが、「2016年3月末段階の所蔵数」と「2016年4月～2019年10月末受入のロケーションが外国の図書」と分かれている理由がよく分からないので説明をお願いします。</p>
事務局	<p>図書館システムを平成30年3月末に変更しました。以前のシステムでは外国語の本については、データの中に何語で書かれた本なのかという情報が入っており、出力することもできましたが、図書館システムを変更したことにより出力することができなくなり、また、今までのデータも消えてしまいました。そのため、以前のシステムで最後に出力した2016年3月末の言語別所蔵リストに上がっている数値と、2016年4月以降に受入れた外国語の本の棚にある冊数を数えて資料⑦に記載しました。現在、改善できないかと少しずつデータの見直しを行っているところです。</p>
委員	<p>英語の本が1,200冊以上あることに驚いたのですが、これはほとんど書庫にあるのでしょうか。また、検索することは可能でしょうか。</p>
事務局	<p>ほとんど書庫にあります。ですが、検索機で検索することはできません。この状況も少しずつ見直しているところです。</p>
委員	<p>以前に本のISBNには言語を表す数字があり、図書館の検索機で本を検索するとISBNが出てくるので、検索することはできるのではないかと提案したことがあるのですが。</p>
事務局	<p>提案いただいた後調べてみたのですが、外国語の本は日本語の本と違うルートで購入するため、検索のためのデータも職員が1つ1つ作成しています。そのため、入っているデータが本のタイトルと日本語のタイトルがある場合はそのタイトルぐらいの、最低限のデータしか作成しておりません。ですので、職員が作成した本のデータにはISBNが入っておりません。</p>
議長	<p>今までの分は仕方ないとしても、今後のものはデータが入るということでもいいですか。システムとして入っていないのですか。</p>
事務局	<p>システムに入れる箇所はあります。和書はそのデータを購入して入っていますが、外国語についてはそのデータの料金がものすごく高いので購入することができず、</p>

	職員がデータを入れていたというのが現状です。ですが、ご意見いただいたように今の状況はどうかというのはおっしゃられる通りです。
事務局	書庫にある外国語の本はほとんどが2016年3月末に作成したリストの中にありますので、カウンターでリストを見ていただくことは可能です。
委員	1週間ほど前の新聞で「文章の作れない大人」という記事を読みました。スマホで済ませるので文章の中で起承転結が分からないと書いてありました。
事務局	そのお話についてですが、国際学習到達度調査(PISA)と言われる調査の結果が12月4日の新聞各紙に掲載されました。読売新聞ではその後5日間にわたり特集を組まれました。その内容になりますので、ご興味のあるかたは12月4日の新聞を見ていただけたらと思います。
議長	それでは次の自由討議に入らせていただきます。お一人ずつお願いします。
委員	<p>今日の感想からお話しさせていただきます。子どもたちを育てている親御さんが本を読まれないということで、家族を巻き込んで本に接していただく機会がないと子どもたちに本が届かないのではないのでしょうか。お母さん経由で子どもに本が届くので、お母さんが如何に図書館に関わってくださるかがこれからの課題ではないかなと思います。ですが、そういうことが書かれた計画が少ないような気がしますので、子どもたちもですが、子どもを育てている家族がどうして図書館に足が向かないのかが大きな課題である気がします。</p> <p>もう1つ、守山市立図書館のカフェを運営しているかたと知り合いで少し関わっているのですが、「図書館だからこれはしてはいけない」という概念を捨てて、夜7時から始めるお酒持ち込み可の大人の読書会を提案しました。お酒の持ち込みについては教育委員会でもバトルがあったと聞いていますが認めていただいて、1回目に太宰治の『人間失格』について語る読書会をしました。本は事前に読み込んでいただき意見を交わしていただくが、ルールは1つだけで出た意見は否定しない。すでに2回開催したのですが、ジャンル関係なく決められた本を読んできて、その本について語る読書会です。他にも子どもたち対象の句会を企画しました。それが大盛況で、子どもたちの作る俳句が面白いと大人のみなさんも来てくださります。</p> <p>貸出冊数などには影響がないかもしれませんが、少しでも図書館に興味を持っていただき、来ていただくという思いでしています。</p> <p>30年前の甲西図書館は夜に演奏会をしておられて、私も参加した記憶があります。誰にも考えつかないようなこと、例えば騒いでもいい日があるなどしてはどうでしょうか。この施設は車でないと来られない場所なので、家族で来られる、「今日は何もすることがないから図書館に行こう」と言われる図書館を目指してはどうかかなと思います。</p>
事務局	役所的な話になるのですが、守山市立図書館は1つの建物の中に図書館とそれ以外の場所が分かれていて、図書館は教育委員会の管轄で、それ以外は地域で活動する

	<p>部屋などでおそらく市長部局が管轄になっています。そのため、図書館以外の場所で行うことについては、市の規則に定められていて飲食も問題ないとなっているならば図書館はノータッチなんです。ですので、飲食をどうするかについては市長部局で判断されたんだと推測されます。</p> <p>別の話になりますが、図書館は、憲法、教育基本法、社会教育法の下に図書館法という法律があり、図書館法に基づいて業務を行っています。市役所の仕事は法律でこうしなければならないと定められたことしかできず、縛りがあることが多いのですが、図書館法は「こういうことができる」という形で定められていることが多いので、先ほどの飲食は別としても、図書館はみなさんがやりたいことができる可能性のある施設です。30年前くらいには周辺にそのような施設がなかったこともあり、甲西図書館でコンサートや川柳の会など教育的、文化的、芸術的な事業を開催しておりました。ですので、現在そのようなチャレンジ精神がちょっと乏しいというご指摘については、甘んじて受けないといけないと思っているところです。</p> <p>また、本日滋賀県教育委員会発行の「おうちで読書」のリーフレットを配布させていただきました。子どもと本との出会いや読み聞かせの効果などが書かれています。このとおりにできればいいのですが、いろいろな施策をしても本当に本を読んでほしい家族になかなか届かない、これが現状です。このリーフレットの製作に少し携わりましたのでご紹介させていただきました。</p>
議長	<p>では、館長もご指摘を甘んじて受けずにしていただきますようお願いいたします。それでは次のかたどうぞ。</p>
委員	<p>先ほど貸出冊数と入館者数の話がありましたが、私は図書館に来て本を読みながら、ちょっと違う話も読みたいと思って違う本にも目を通したりしています。貸出をするだけが図書館ではなく、本に触れること、例えば芥川龍之介の本を5冊並べて選ぶのも図書館の楽しみ方なのかなと思います。ですので、貸出冊数で実績を計るのはどうかと私は思っています。以前にも話をしましたが、私は持ち込みの本を使って勉強をしたいと思うので、守山市立図書館に限らず、岐阜市立図書館や横浜の近くにある東大和市立図書館に行ったことがあるのですが、これからの図書館は本を読むというのがベースにはあるが、「この1冊を借りるだけ」だけではない違う方向になればいいなと思います。</p>
議長	<p>先日の図書館協議会交流会でもそのような話題もあり、貸出冊数が増えるだけでなくコミュニケーションを図ること、まず来ていただくことが本に近づくと、そのために、ここに来ていただくためのことをしていけないと思いました。</p>
委員	<p>学校図書館に携わっているのですが、学校図書館は読書センター、学習情報センター、教育センターの3つの機能を持っています。図書を授業につなげるということや子どもがどうしたら図書に親しんでくれるかということを先生たちはいつでも考えています。先ほど議事1)のときに感想の自由の保障という話がありましたが、学校</p>

	でも、本を読みなさいとかこれは間違っていると断言したりするのではなくて、国語でも自分の主体的な考えをみんなで交流するような授業を行っています。また、この協議会で図書館に足を運んでみたくなるような方法を話し合うと思うとワクワクしていますし、自分なりに考えていきたいなと思います。
事務局	<p>さきほどお話のありました岐阜市立図書館ですが、実は昨日行ってまいりました。岐阜市立図書館は圧倒的な机の数がありますが、曜日限定ですが「持ち込みはしないでください」と書かれています。そのため、常時フリーなスペースはほとんどありません。岐阜市立図書館は2階が図書館、1階がフリースペースと国際交流に関する部署があります。1階2階と一体的にされているように見えますが、実際は管轄が違ってきます。ですので、1階は自由に勉強できます。</p> <p>ただ、いろんなリストを作成し、その中には中高生が関わって作成している物もあります。中高生が本を読むということをどう考えるのか、またどんな本を人に勧めるのかということを中心に関わっているのは先進的だと思いますし、湖南省でも参考にさせていただかないといけないなと思っています。</p>
委員	甲西図書館に設置してある意見箱の意見に自習についての意見がありますが、回答でむげに断っています。せっかく主体的に図書館に関わろうとしているのにそれはもったいないと思います。
事務局	意見箱の回答はファイルに綴じて設置しています。持ち込みの自習については、意見箱以外にも意見をいただくことがあります。申し訳ないがお断りしています。ただ、図書館がどういう形で学校や地域と関われるのか検討をと教育長から指示を受けているので、来年度以降進めていく予定です。
委員	ちょっと突飛な案ですが、なぜオリンピックは8月に開催されるのか、前回の東京オリンピックは秋でしたし、今回暑さについて問題になっていたと思うのですが、そのような疑問を広報こなんに掲載して、その本を図書館に置くというのはどうでしょうか。興味を持ったかたが図書館に来ていただけたらと思うのですが。また、こういうことを調べた中高生が、学校に行って友だちどうして話すというのを期待しています。
事務局	以前には読書週間や夏休みに大人向けの本のリストを作成したりしていました。今は夏休み前に作成する子ども向けのリスト以外に作成できていませんが、作るべきという意見はお客様からも、職員からも出ておりますので、どういうリストがいいのかはこれからですが、作成自体は検討しています。
委員	こういうご意見が中高生から出るといいのですが。「なんで」「どうして」というのは調べる力になりますので。
事務局	そういうことを、図書館がどういう形で学校や地域と関われるのか検討し、来年の夏休みに何かできないかなと考えております。
議長	それなら、中高生対象のミニ図書館協議会をしていただいて、私たち委員がその周

	<p>りで傍聴するというのもどうでしょうか。子どもたちのことなのでここで私たちが意見するよりは子どもたちに意見を聞きましょうと。そういったことをしていただければ、生の意見を聞くことができますので。</p>
事務局	<p>市の政治・行政一般については、市長が学校を回らせていただいたり、子ども議会のようなものをさせていただいていますので、その中で図書館のことについて意見をいただけるようであれば、図書館で回答案をつくって、話をさせていただくこととなります。ただ、図書館単独ということになりますと、他のところはどうかという話になりますので、今の段階ではご勘弁いただけたらと思います。</p>
委員	<p>図書館のレファレンスサービスをもっと中高生にアピールしたらいいと思います。そのときにどんな疑問でもありだと知ってもらいたい。例えば「どうして学校の教師はあんなに偉そうにしているのか」→ではスクールハラスメントの本をどうぞ。「なぜ学校の校則は守らないといけないのか。その法的根拠があるのか」→憲法の本をどうぞ。と、どんな疑問も質問することが可能ということを知ってもらえたら、図書館は話を聞いてくれるところ、教えてくれるところとなるのではないのでしょうか。既存概念にとらわれるのはあまりよろしくないと思うので、主体的にその人が大事に思っていることをどのようにして周りの人が助けるかだと思います。</p>
委員	<p>先月に小学校の校長と話す機会があり、図書館と小中学校との連携は保てているのか、また、各学校の学校図書館にある本はずっとそのままなのか、それとも潤沢に調達できているのかということ質問し、現在図書館とはいろいろな交流があって、貸し借りできる仕組みがあると聞きました。今子どもがなぜ読書をしないかというところ、TV、動画、スマホに集中していると。これらを家庭で時間を決めて子どもはいいが、平日も2時間3時間もし、休みの日はずっとしている、こういうことはやっぱり何らかの形で規制をかけることをしないと、読書をするということは増えてこないと思います。校長は、学校でも読み聞かせをやっているし、そういうことをどんどんやって本を読む楽しみを増やしていこうと考えていると。また、図書館と学校との連携が保てているとのことなので、それをもっと強固なものにしてほしいです。例えば、市から本をあっせんしたり、図書館で廃棄する本を廃棄せずに学校に提供したりできると思います。</p>
委員	<p>湖南省の学校図書館は学校司書さんがいてくださいます。ずっとではないが、県内他市町に比べると時間もかなり保障されていて、公共図書館とも連携できているため、県内では一目置いていただいています。本が潤沢にあるかどうかについては蔵書率が学校によってまちまちなので、声を上げていきたいと思っています。</p>
委員	<p>学校司書さんの勤務時間が限られてるため、学校図書館を開ける時間が限られてしまい、先生が結局管理していることもあると聞きました。その点を改善することによって、本に触れる機会も増えてくると思います。</p>
委員	<p>本には命を助ける力もあって、私の友人がクラスには入れないが、図書館に通い続</p>

	<p>けて高校を卒業し好きな道に進んだりとか、また「自殺したくなったら図書館に行こう」と呼び掛けたり、教師や親などの上からの関係ではなく、図書館の人はそうではない関係で「面白い本があるよ」とか話しかけてくれる一言でその子の生きる力が生まれてくるような場所であってほしいです。ここで言いたいのが人事の問題なのですが、司書さんは専門職ですし本が好きでいろいろな思いを持っておられます。図書館だけでなく学校図書館もそういうかたとの関わりで「ずっとあの人がいるな」という安心感を与える場所であってほしいです。ハード面もそうですが、そこにいる人も大事に考えてほしいと思います。</p>
事務局	<p>「自殺したくなったら図書館に行こう」と最初に呼びかけたのは鎌倉の図書館が初めてですが、以前児童福祉に携わっていたことがあるので、8月30日・31日になると「この子たち、明日大丈夫だろうか」とものすごく不安になることはあります。そして、9月1日・2日になると少しホッとします。それが正直なところです。</p>
議長	<p>それでは、時間になりましたのでこれで終了させていただきます。</p>

次回：令和2年3月5日（木）午後4時00分～6時00分